

2024 年度日本スポーツ医学財団 研究助成及びセミナー等助成の選考について

2024 年度は当財団の研究助成事業に対して、昨年同様に日本臨床スポーツ医学会、日本アスレティックトレーニング学会、日本スポーツ整形外科学会の 3 学会からそれぞれ 3 題の研究を助成対象として申請していただきました。さらにその他の一般からは 5 題の応募をいただきました。

審査の結果、本年度は研究助成 5 題と 1 題のセミナー・シンポジウム・研究会に対し助成を行うことに決定しました。申請書類に基づいた審査により、今回の助成に日本アスレティックトレーニング学会からの申請は含まれませんでした。

昨年同様に、審査は研究やセミナーの内容について申請者からの書類に基づいて、事前選考委員それぞれが 1 から 5 までの絶対評価（5 点が最高点、1 が最低点）をつけ、選考会議当日に各委員の評価を基に審議し、最終的な助成研究を決定いたしました。

今年度も上限 100 万円の助成金額については、必要経費見積金額の必要性が十分と認められないもの、価格設定の根拠が示されていないもの、当然既存しているべきものなどについては削減して助成することにいたしました。

研究費の内容については具体的で納得できる説明が大切です。必要経費を裏付ける資料の必要性も考慮されます。

学会の参加目的について具体的に明らかにすべきです。研究の集大成として英文誌への投稿はぜひ実現していただきたい内容です。これらの項目はぜひ具体的に申請書に加えていただき、総合的に助成金額を決定していきたいと思っております。上限が 20 万だからと言ってその内容の記載を不明瞭にすべきではないと考えます。

研究助成申請書が具体的で誠意に満ちた説明がなされたものにさらに進歩するために、今後も上記の基本方針を継続する所存です。

公益財団法人 日本スポーツ医学財団 選考委員会